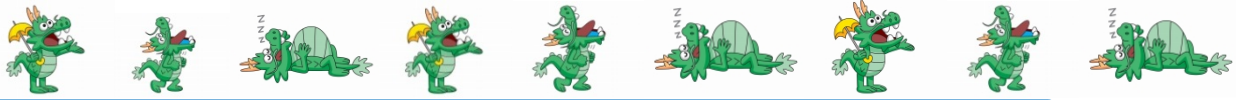


浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第 10 号～平成 28 年 9 月号～



トンネル掘削機の刃を交換するため、地下約 20 m を地盤改良しています。

「いろは呑龍トンネル」南幹線は、トンネル掘削機の先端についた刃（ビット）で掘削していますが、途中、岩盤があるので、岩盤用の刃に地中で交換します。地中で刃を交換するため、交換時に土砂や地下水がトンネル内に流入しないように、地下約 20 m の土を地盤改良します。



<p>地盤改良（夜間通行規制） （国道 171 号地上部）</p>	<p>地盤改良 （管挿入状況）</p>	<p>地盤改良プラント （国道 171 号隣接地）</p>
<p>国道 171 号を夜間に通行規制しながら、地下約 20 m の地盤改良の準備（地下約 20 m まで管を挿入）をしています。</p>	<p>地下約 20 m まで管を挿入している状況です。現場に隣接して、地盤改良プラントを設置しています。</p>	

「いろは呑龍トンネル」南幹線の掘削土は、地下約 20 m から配管で輸送しています。

<p>「いろは呑龍トンネル」南幹線の掘削土は、泥水に混合し、地下約 20 m から配管で輸送しています。その後、泥水に混合した掘削土を泥水処理プラントで、泥水と土砂に分離します。地下で岩を粉碎し、配管内に粉碎前の石がまれに詰まることがあります。 （写真の石）</p>	<p>地下約 20 m の石</p>	<p>地下約 20 m の石</p>	<p>配管輸送 （掘削土）</p>
	<p>泥水処理プラント （泥水と土砂に分離）</p>	<p>泥水処理プラント （土砂分離口）</p>	<p>地下約 20 m の土砂 （国道 171 号部）</p>

<工事の進捗状況>

いろは呑龍トンネルは、国道171号を北上しています。

【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要
 掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m
 掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日
 工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日

○雨水南幹線の掘進状況
 (平成28年9月12日現在)
 1,298m / 全長4,069m
 【 32% 】

